



安全・安心なまち

第5次朝霞市総合計画の将来像「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」。“暮らしつづけたい”と思えるまちとなるよう定めた4つの基本概念（コンセプト）から市の取り組みをご紹介します。

安全・安心なまちとは、私が「日常生活において安全で安心して暮らしていける」と実感できるまちであるとともに、「災害時においては、みんなで助け合って乗り越えられる」と思えるまちです。

～市民の声～（市民満足度アンケート、市政モニターの結果より）

- ・集中豪雨時に下水道の処理が間に合わず道路が冠水となった。
- ・私の住む地区は、水に対する心配が多々あります。大雨の時は浸水してしまいます。

～市の取り組み～雨量計増設

近年、全国各地で大雨による浸水等の被害が発生しており、降雨状況や河川水位をいち早く把握し、被害を最小限に食い止めることが必要になっています。特に、局地的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）は予測することが困難なため、市内の状況把握が重要になってきます。これまで、埼玉県が市役所内に設置した雨量計で降雨状況を把握していましたが、平成29年度に朝霞第七小学校、今年度はクリーンセンターに市が雨量計を設置しました。複数箇所での降雨量を把握することで、より迅速に避難指示等の情報を提供することができるようになりました。

また、大雨時の道路冠水などを防ぐため、増補管の布設や浸透貯留槽の設置などの雨水浸水対策を進めています。

市では今後も、市民の皆さんへ防災行政無線や市ホームページ、SNSを活用した迅速な情報伝達に努めるとともに、災害による被害をできるだけ少なくできるよう対策を進めていきます。

